

⚠ 自己責任！ 間違ったらゴメンなさい…。

At your own risk. If we mistook, sorry...

こうぼく よ かお き (びやくだん)
香木 良い香りのする木 『白檀』

☆ ^{いんど}インドの^{まいそーるちほう}マイソール地方(?)で育ったものが、いわ
^{こうぼく}ゆる香木『白檀』。^{いんどせいふ}インド政府が^{ぜんど}全土で^{うえて}植えてみた
^{けっか}結果、^{ほか}他の^{ちいき}地域で^{つうよう}育てても香木としては通用しない
^{こと}事が^{はんめい}判明。(^{あぶら}油に^{ふくまれる}含まれる^{せいぶん}成分が^{もんだい}問題) ^{いちぶ}一部、^{にた}似た
^{どじょう}土壌の^{とびち}飛び地では、まあまあのものが育つそうです。

ただ、^{まいそーるさん}マイソール産だからといって^{ゆだん}油断は^{きんもつ}禁物！
^{ていひんしつ}低品質の材が^{ざい}高品質の材として^{こうひんしつ}出品されることも。
^{ぷろ}プロは^{みぬ}見抜いて^{てくす}くズ^{びやくだん}白檀には^て手を出さないそう。

☆ ^{ねっこ}根っこは^{あぶら}油が多いものの、^{ぼろぼろ}ボロボロして^{もろ}脆いた
^{ぶつぞう}め、^{ねんじゆ}仏像や^{ねんじゆ}念珠などを^{つくる}作ることが^{でき}出来ません。

☆ ^{ゆぶん}油分が多いと^{おおい}茶色...と^{ちらい}チラシに

^{ほござい}書きましたが、^{どろ}保護材(泥)を
^{すりこん}すり込んで^{あると}あると、^{もと}元が^{しろくて}白くても^{ちらい}茶色。



☆ ^{おなじ}同じ一本の木でも、^き油分が^{おおく}多くない^{ぶぶん}部分と^{おおい}多い
^{ぶぶん}部分があります。弊社は^{へいしゃ}油分が^{ゆぶん}多くない部分を

ざいりょう
材料にしたものをミックス・クオリティ (or
のーまる くおりてい ゆぶん ざいりょう
ノーマル・クオリティ)、油分が多い部分を材料に
したものをハイ・クオリティと呼んでいます。焼肉で
はい くおりてい よんで やきにく
たとえばなら、並カルビと特上カルビ。値段も数倍・
たとえる なみかるび とくじょうかるび ねだん すうばい
十倍・それ以上、極端に違います。ハイ・クオリティ
いじょう きよくたん ちがいます
の念珠や 108 ビーズが欲しい方は お問い合わせ♪
ほしいかた おといあわせ

いがい はなし きせいしよくぶつ
☆意外な話、(半)寄生植物です。

「かおり もつ 」きかれます
☆「香りは、ずっと持つの？」と訊かれますが、油分
といれ ほうこうざい へってくため
がトイレの芳香剤のように減っていく為、持ちません。
すかしぼり みにびーず かおりやすい きはつ
透かし彫りやミニビーズは香りやすい = 揮発が
はやいため もってすうねん ぶつう おきもの きはつ おそい
早い為、持って数年。普通の置物は、揮発が遅い
かわり すうじゅうねん もったり たとえる うすぎり
代わりに、数十年持ったりも。例えるなら、薄切り
ぼてち せんべい ぜんしゃ さくさくたべられる
ポテチとげんこつ煎餅。前者はサクサク食べられる
なく こうしゃ かたくてすこし
けど、すぐに無くなってしまい、後者は固くて少しづ
つしか かじれないので、なかなか無くならない。



☆ 「^{「きよねん なつ かおり}去年の夏は香りがしたのに、^{はるさき だした}春先に出したら
^{かおらなくて・・・」}香らなくて…。」^{くじょう}という苦情もありましたが、^{ゆぶん}油分が
^{とく おおいぶぶん ざいりょう}特に多い部分を材料にしたものなら ^{ともかく、}ともかく、
^{あついなついがい きせつ じょうおん かおる むすかしい}暑い夏以外の季節に常温で香るのは難しいかと。

**※^{あたたかい かんそう}どちらにせよ、^{かぜあたり}温かい・乾燥している・風当たり
^{よいばしょ ほうち きはつ はやい ごちゅうい}が良い場所に放置すると揮発が早いので ご注意ください。**

☆ ^{へいしゃ}弊社では長年、^{びやくだん}白檀の ^{(ぴゅあ さんだる}お香『ピュア・サンダル
^{しりーず)}シリーズ』を ^{いんど つくらせ}インドで作らせ輸入 & 販売中。但し、
^{かんぽう こうりょう}漢方 ^{ちようこう}香料など入れて『調香』した日本製の(一部)
^{びやくだんふんまつ もつぶん きぎょうひみつ}高級品と違い、白檀粉末+木粉+企業秘密とシンプル。

☆ ^{いんど}インドでは、^{びやくだん ふんまつ せいゆ もくざい びーず}白檀の粉末・精油・木材・ビーズ等
^{げんそく ゆしゆつきんし いんど こくない おこう ぶつぞう}は、原則 輸出禁止。インド国内でお香・仏像・アクセ
^{かこう ゆしゆつ ほう かくとく がいか}などに加工してから輸出した方が獲得できる外貨も
^{ふえ かこうぎょう しつぎょうたいさく}増えて、加工業の失業対策にもなるから...かも？

Σ(;-o-)^{「ダメだ！ それはビーズでわないか？」}→
(^^)^{「いえいえ、お代官様…。これはネックレスで}
^{ございます。それも 108 の煩惱をあらわす、}
^{おじゆず風の…ネックレスで、ございます。」}→
v(^0^)^{「…そふか、そふか…。ワツハツ h}



☆^{ふく むしよけ びやくだん せんこう た く や に しんぱい}服の虫除けに白檀の線香を焚くとヤニが心配。

かといって、^{むかしながら やりかた こうぼくへん たいたら}昔ながらのやり方で香木片を焚いたら

^{かね てま たいへん ほつとぷれーと なんありひん}お金と手間が大変。そこでホットプレートに難有品

^{おれたせんこう も}(折れた線香)を盛ってクローゼット内でスイッチオ

^{くんじょう}ン。薰蒸してみましたヨ♪ うまくはいったものの

^{びやくだん かおり そうしき た く まっこう れんそう}「白檀の香り、お葬式で焚く抹香を連想されるかも

…。それって、「どーなの？」とのツツコミが…。

^{よだん ほつとぷれーと おこう じつえん ふ む き でんりよく}余談:ホットプレートは お香の実演に不向き。電力

^{くう でんきや しはらいがく ぞうか}をやたらと食うため、電気屋さんへの支払額 増加。

^{あたたまる かおる じかん}オマケに温まる(香る)まで時間が かかりすぎるく

^{びじねす すぴーど いのち}らい、かかります。(ビジネスはスピードが命)あと、

^{たきかた かおりかた ちがう さんこう}焚き方だけでなく香り方も違うため、参考にならず。



Abitelax(アビテラックス)

ミニグリルパン

APN-16G(R)

販売元:吉井電気(株)

輸入元:(有)新津興器



仕 様	
品 名	Abitelax ミニグリルパン
品 番	APN-16G(R)
電 源	AC100V 50/60Hz
消 費 電 力	600W
製品サイズ(約)	幅245mm×奥行200mm×高さ170mm
製品重量(約)	1,160g
コードの長さ(約)	1.0m
安 全 装 置	温度ヒューズ:192℃

かう いま ざいりょう びやくだん
(^_^) 買うなら今！ 材料が白檀であることを

さしひいて びじゅつこうげいひん おねうち
差し引いても、美術工芸品として お値打ち。

なんじゅうねん たてば おたから かん だん でそう いっぴん
何十年か経てば、お宝鑑○団に出そうな逸品♪

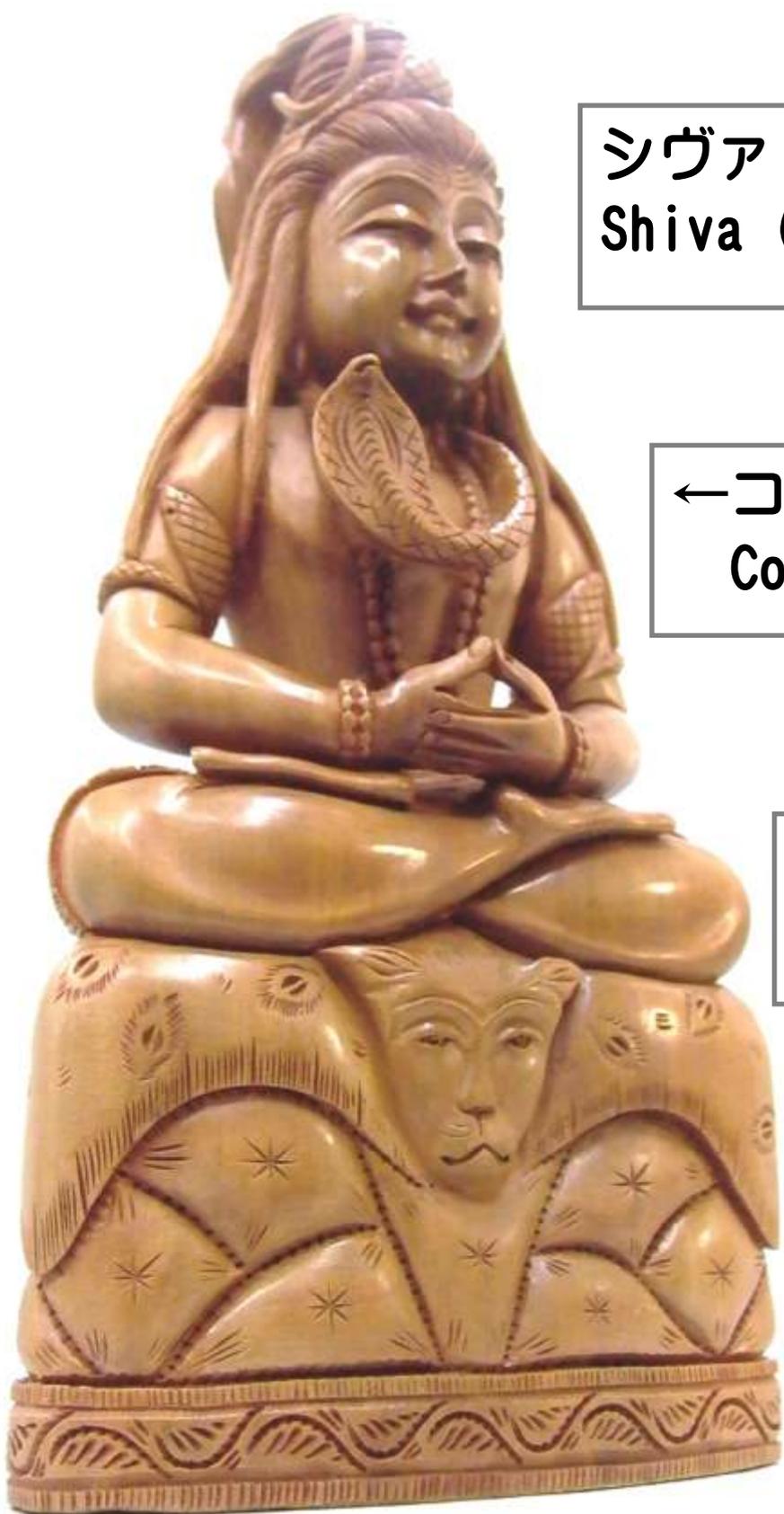


シヴァ (8インチ)
Shiva (8.0inches)

←コブラ
Cobra

←吉祥座
Lucky Sitting

←虎の毛皮
Tiger's Fur



バターを壺から食べる
少年クリシュナ
(6インチ)
Child Krishna Eating
Butter from a Pot
(6.0inches)



シルデイ・サイババ
(6インチ)
Shirdi Sai Baba
(6.0inches)



シルディ・サイババ
(4インチ)

Shirdi Sai Baba
(4.0 inches)



クジャク (4インチ)
Peacock(4.0 inches)



ワシ (4インチ)
Eagle(4.0 inches)



サイババと言えばレンガ！
レンガと言えば、サイババ



(^^) / こちら、サイババの出身地
インドの大地から採取した泥で
作った、ありがた～い ← ~~靈感商法~~

塩・コショウ入れ (3.5 インチ)
Salt Pepper Bottole(3.5 inches)



ライオン親子 Lion Family
(80x36x83mm)



ガンディー胸像
(3インチ)
Gandhi Bust
(3.0inches)



旧5千円札(メガネの人)の胸像を作らせようと考えたのも昔の話…。型に流し込む樹脂製品と違って(ドリルなども使うとはいえ)手作りだと、ゼロからの開発はほとんど無理 難題…。

うまくサンプルが仕上がっても、よほど大量 発注で気合いを入れてもらわない限り、量産の際は手抜きとにかく似たようなものを作り慣れていると、開発が楽。

ガンディー立像
(6インチ)
Standing Gandhi
(6inches)



ガンディー立像(10インチ)
Standing Gandhi(10inches)



これをベースに
詩人 種田 三頭火を
作らs

おごおり
旧 小郡駅、
現 新山口駅の
前に、像が
あるんだゾウ☆



まつたく雲がない笠をぬき 山頭火

裡田山頭火は、ささらの旅を続け、質の高い自由律俳句を作りつづけた層雲派の俳人で、「昭和の芭蕉」といわれた。

昭和七年から同十三年まで小郡町矢足に住み、家を「其中庵（こちゅうあん）」と称し、生涯を通じても充実した日々をおくり、「其中日記」を残した。

この句は、昭和五年に旅の途中、晴天の下で網代笠（かさ）をとり、なと休みしたときに詠んだもので直筆をも復元して刻んでいる。























(^^)/ ここから先は通行止めだ！(ウソ)